



豊中市立第五中学校

66期生 第三学年 学年通信 第14号 2019.06.25

～皆で力を合わせて強く前へ前へ～

進路学習が始まっています！



～私の未来設計図～

6月11日(火)に、私の未来設計図を考えました。まず、「なりたい仕事」へのアプローチ方法を考え、その仕事が資格や訓練が必要な職業かどうか気づき、準備がいつ始められるかを考えました。1、2年生で学習した職業調べや職場体験学習なども参考にして取り組んでいました。また、「15歳」の今の自分から倍の年齢の「30歳」の自分についても考えました。「なりたい仕事」⇒「なりたい自分」と発展して、自分だけでなく家族のことも一緒に考えていました。「なりたい自分」に向かって意欲を持てるようになったのではないのでしょうか。

～進路ガイダンス①「中学卒業後の進路について」～

6月14日(金)にハローワークの方を迎えて「中学卒業後の進路について」お話をいただきました。就職についての話で、高校行かずに就職をするということではなく、いずれ就職することになるということから、人はなぜ働くのか、生きるためにどう働くのかという話を聞きました。働くという意志決定が大切になってくるのですが、その中で長く続けられるのか、3万種類もある仕事の中からどんな仕事を選ぶのか。また、必要な免許、資格、技術、そして働く条件(給料、時間、休日、場所等)についても考えました。自分に合う仕事を見つけるのはなかなか難しいです。合わなくて簡単に仕事を辞めてしまう人もたくさんいます。自分から環境に合わせていく柔軟性を持つことが大切だと言われていました。このことは高校進学する人に対しても、新しい環境に入っていくので大切なことだと思います。なんでも周りが自分に合わせてくれるのではなく、周りの人、環境のことを考え、そこに合った考え方、行動が必要になってくると思います。

～進路の手引き～

6月19日(水)20日(木)毎年受験生に配られる「進路の手引き」を使って、具体的な進路決定について各クラスで考えました。高校の種類や、受験日程など少しずつ入試が近づいてきている実感が湧いたと思います。さらに、廊下には様々な高校のポスターが貼ってあり、友達と高校見学の案内を見ている人をたくさん見かけます。すでに夏休みやその先のオープンスクールや入試説明会への申し込みや案内も始まっています。「羅針盤」でも紹介されていますのでしっかりチェックしておきましょう。

～進路ガイダンス②「高校を受験するという事」

箕面自由学園中学校・高等学校 校長 田中先生講話～

6月21日(金)に箕面自由学園高等学校の田中校長先生に来ていただきました。



まず、「高校は義務教育じゃない」というところから、みんなが高校を選んで受験するように、高校側もみんなを選んでいる。そのため、もちろん「不合格」もありうる。「自分で努力して努力して、勝ち取る、つかむ！」ことが大切。「自分で考え、自分で決める。」あなたの母校になる高校なのだから。とても厳しいことですが、現実的な話だと感じました。では、そのなかで「受験勉強」をどうとらえるか？「遊戯三昧(ゆげざんまい)」という発想を持つ。受験勉強は限られた時間との戦いです。どうせやるならいやいややるのではなく、「楽しんでやる」という発想を持つということです。「受験勉強という壁を乗り越えることで、人間的にも成長できる。」と教えていただきました。

その「楽しんで勉強する」ために、

まず伸びる生徒共通の3つの行動パターン(クラブ活動でも同じ)

①他人の話を素直に聞くことができる(メモを取ることを忘れるな)

②やらなければいけないことを何よりも優先して実行する。

(何か自分に言い訳をして、やるべきことを後に回すのと反対)＝時間を大切にできる！

③ONとOFFの使い分けを計画的に出来る。

やるときはやる、休むときは休む。中途半端・ながら勉強はダメ！！

(特にスマホを机に置いてやったり、音楽を聴きながらやったり・・・)

場当たりのOFFの取り方はダメ。計画的にOFFを取る。

「楽しんで勉強する」ために～お薦めの勉強法はこれだ！

①やるべきことを前もって書き出しておこう。(小さいノートに)

前日の夜に、翌日にやるべきことをリストアップ、記録を残す。

※クラブの練習も同じです。クラブノート、クラブ日誌とか。

②やる気をだすおまじないを考えておこう。

なんでもいい、「よし、やろう！！」と思えるものを決めておく。

③すき間時間の活用(「忙しい」を言い訳にしない。特に暗記に有効！)

10分×5回/1日 「10分しかないから、～出来ない」から

「10分もあるから、～しよう」という発想の転換

※何をするか、具体的に決めておいたほうがやる気・効果は出る！！

④25分間(集中)学習法 25分間思いっきり集中してやる。

25分学習、5分休憩、25分学習、5分休憩、25分学習、5分休憩・・・

⑤まちがいノートを作ろう！ 二度と同じまちがいをしないように

定期テスト、実力テストの間違った問題のやり直しは必ずすること。

「もう一度やり直す必要があるな」と感じる問題は、このノートに書いておく

(コピーしたものを貼りつけてもいい)

⇒入試までに何度も何度も見直すこと。(入試当日も持参、最高のお守りになる。)

ここに書いている以外でも参考になる話がたくさんありました。しっかり受け止め、自分のやり方を見直してみよう！

